

- (1) (b)
→ embark on = 「(船や飛行機で) 出発する」から派生して、「(新しいことに) 乗り出す」という用法がある。
- (2) (c)
→ assign = 「(仕事・課題を) 割り当てる」で、名詞形は assignment = 「課題, 宿題」。advocate は「提唱する」、submit は「提出する」、report は「報告する」。
- (3) (a)
→ be strict with 〈人〉 = 「〈人〉に厳しい」である。
- (4) (a)
→ provide = 「提供する」であるが、provided that ... = 「... である限り, ... という前提のもと」となることはセットで覚えておくべき。
- (5) (d)
→ 難問。普通であれば get を使いたところであるが、achieve も実は使える。obtain や acquire, また earn や gain なども score とのコロケーションで使われることは基本的にない。
- (6) (c)
→ interference = 「干渉, 妨害」である。interfere with に対し interference to を取ることは余力があれば押さえておきたい。
- (7) (a)
→ come to a halt = 「停止する (停止に至る)」はセットで覚えておくべき。逆に halt を単体で覚えてもほぼ使い道はないだろう。screech は「キーという甲高い音 (金属音など)」を表す擬音語である。
- (8) (a)
→ stress が入っているからと言って(c)や(d)を選んでしまわないよう注意されたい。distress = 「苦難, 苦悩」もしくは「困窮, 貧困」である。
- (9) (a)
→ to を取りたくなるところだが、be tolerant of ... = 「... に寛容である」までセットで覚えておこう。
- (10) (b)
→ forbid - forbade - forbidden という特殊な変化をするが、登場頻度は forbidden が圧倒的に多いのでそれだけ覚えておけば大抵は事足りる。forbidden = 「禁止された」と覚えておこう。